

蟹江町歴史民俗資料館 おうちミュージアム

第25回 ^{せいめいづか}「晴明塚」について(答えと解説)



蟹江町には、^{せいめいづか}「晴明塚」と呼ばれているスポットがあります。この、「晴明塚」にはどのような由来や言い伝えがあるのか学んでみましょう。

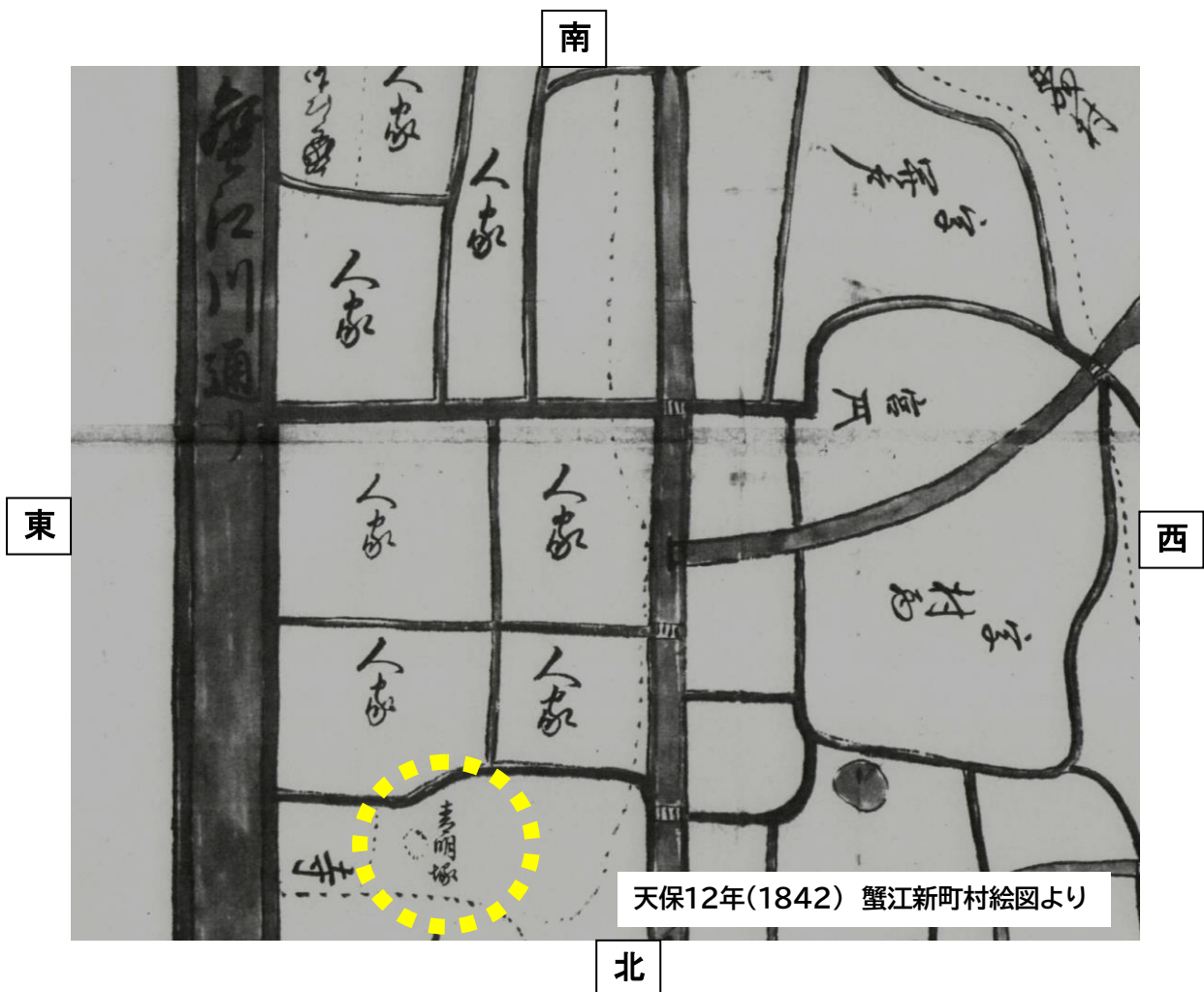
①「^{せいめいづか}清明塚」は、「^{あべのせいめい}安倍清明」という歴史上の人物に関係ある場所です。どんな仕事をしていた人でしょうか。

ア ^{そうりだいじん} 総理大臣(政治家)

イ お医者さん

ウ ^{おんみょうじ} 陰陽師(うらないや、^{きとう} 祈祷(お祈り)をする人)

答えは、ウの^{おんみょうじ}陰陽師です。^{あべのせいめい}安倍清明(本名^{はるあきら}晴明)は、今から1000年以上前の平安時代、陰陽師として活躍した人物で、陰陽師とは、星や月、雲の動きをみて、うらないや^{きとう}祈祷(お祈り)をする役目の人です。平安時代には、多くの陰陽師が活躍しましたが、なかでも晴明はすぐれた陰陽師でした。



清明塚は、蟹江町大字蟹江新町字上ノ割の住宅地の中にあります。江戸時代の蟹江新町の地図にも、家やお寺のとなりに清明塚が書かれています。

- ② ^{あべのせいめい}安倍晴明^{せいめいづか}は晴明塚で、あることがなくなるように^{きとう}に祈祷(お祈り)^{いの}しました。何を祈った^{いの}のでしょうか。

- ア 病気になる人がなくなるように
イ 火事がなくなるように
ウ 水害がなくなるように

答えは、イの火事がなくなるようにです。言い伝えによると、この地をおとずれた^{せいめい}晴明は、火伏^{ひぶせ}の祈祷^{きとう}(火事がなくなるようにお祈りすること)をしていったとされています。土の中には、晴明が使った、刀やほら貝などがうめられていると伝えられています。そのおかげで、^{せいめいづか}晴明塚の周辺では、火事が少ないといい、天正12年(1584)の蟹江合戦のときには、まわりの地域までが戦火にまきこまれたといいますが、晴明塚の周辺だけは、火災にあわなかったそうです。

^{あべのせいめい}安倍晴明にまつわる伝説はいろいろありますが、実際に、京の都で、^{きとう}祈祷(お祈り)をして天皇の病気を治したり、ひどい干ばつがあった時に雨ごいをして雨を降らせたりしたという^{きろく}記録があります。

※「蟹江合戦」について詳しく知りたい人は、おうちミュージアム第8回「蟹江合戦とは？」を見てね。

- ③ ^{せいめいづか}晴明塚の近くにある^{ひよしじんじゃ}日吉神社には、晴明に係のあるマークがついています。どんなマークでしょう。



ア



イ

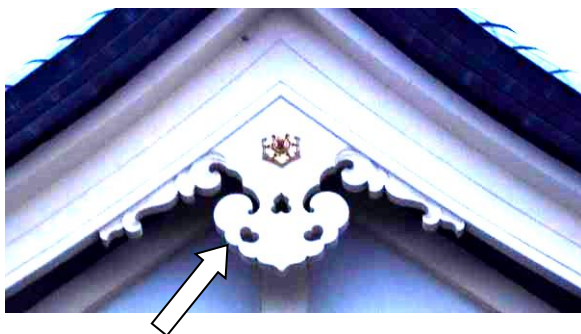


ウ

答えは、**ア**です。このマークは、五芒星^{ごぼうせい}といい、木、火、土、金、水の五つの要素と
 陰陽^{いんよう}という対立する二つの要素の組み合わせで世の中ができていているという、
 陰陽道^{おんみょうどう}の考え方からきているもので、清明紋^{せいめいもん}ともいわれています。蟹江新町の
 氏神^{うじがみ}である日吉神社の手水舎^{ひよしじんじゃ}（手を洗うところ）の屋根の下^{てみずしゃ}の側面^{そくめん}に、この五芒星^{ごぼうせい}
 がついています。地元の方によると、この神社の鬼門^{きもん}（不吉な方向）にあたる場
 所が現在の清明塚^{せいめいづか}なので、これが関係して、日吉神社に清明紋^{かんけい}があると考えられ
 るとのことです。ちなみに、日吉神社では、♡も ♪ も見つけることができます。
 さがしてみてはいかがでしょうか。



日吉神社の手水舎



日吉神社をお参りしたら上の方を見てみて下さい。



いくつかある灯ろうのうち、3つに ♪ があります。
 ♪ も1つあります。

★周辺 MAP★

